

令和2年度 第8回柿崎区地域協議会次第

日時：令和2年11月17日（火）午後6時～
場所：柿崎コミュニティプラザ 305～307 会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 会議録署名委員の指名

4 報告事項

- (1) 柿崎区地域事業の変更について・・・・・・・・・・・・・・・・資料 1
- (2) 初田地区農業集落排水処理施設の廃止について・・・・・・・・資料 2
- (3) 頸北斎場における小動物等の火葬に係る使用料の改定について・・資料 3
- (4) 上越地区における広域最終処分場の候補地検討について
- (5) 柿崎区地域協議会各種委員会からの活動報告・・・・・・・・資料 4

5 協議事項

- まちづくりフォーラムの開催の有無について・・・・・・・・資料 5

6 その他

- (1) 第4回地域協議会だより編集委員会の開催について
同日、地域協議会終了後に開催（市民活動室）
- (2) 第9回柿崎区地域協議会の開催について
日 時：令和2年12月15日（火）午後6時～
会 場：柿崎コミュニティプラザ 305～307 会議室

7 閉 会

令和2年11月17日（火）

上越地区における広域最終処分場の整備に向けた 候補地検討委員会の進捗状況等について

（柿崎区地域協議会説明資料）

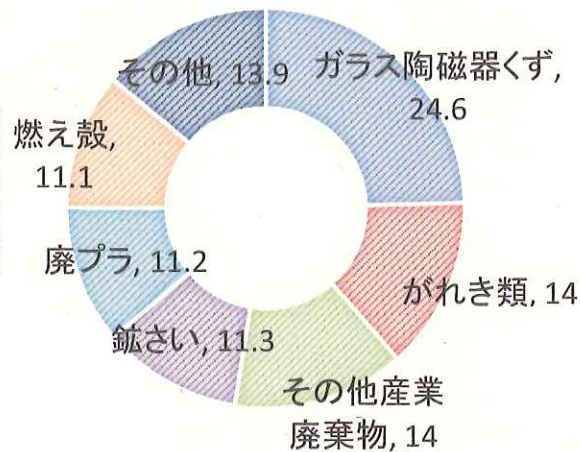


新潟県県民生活・環境部廃棄物対策課

産業廃棄物は事業活動に伴い発生しています

- 産業廃棄物は建設現場、製造工場、農業など様々な場所から発生します
- 排出された廃棄物は、破碎や焼却など処理されてリサイクルされるものがほとんどですが、どうしても最終処分しなければならないものがあります

種類別最終処分量
年間最終処分量
16万6千トン

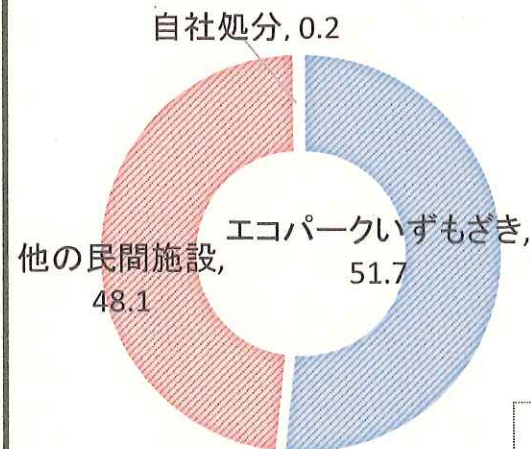


- 県内に産業廃棄物最終処分場がないと、処理費用が高額になり県内産業の競争力低下につながります

最終処分場は県内の産業を下支えする大切な施設です

- 産業廃棄物の処理は排出事業者の責任とされていますが、民間の整備が進んでいません
- 安定的な処分容量の確保のために、県は上中下越に公共関与による広域最終処分場の整備が図られるよう取組を進めています

- 現在、県内の産業廃棄物の大半が「エコパークいずもざき」で処分されています



エコパークいずもざき

上越市の一般廃棄物、震災や豪雨に伴う災害廃棄物も受け入れています

候補地検討委員会における選定作業の経緯

第1次選定

【1次選定項目】

1. 処分場の立地が困難と考えられる場所（立地回避区域）を除外

- ・ 国定公園
- ・ 自然環境保全地域
- ・ 砂防指定地
- ・ 地すべり防止区域
- ・ 活断層付近
- ・ 浸水想定区域
- ・ 水道水源保護地域から1km以内の場所など 計13項目

2. 立地回避区域以外の場所から処分場の立地が可能と考えられる場所を選定

- ① 約10ha以上の敷地が確保できる
※ 住宅や事業所、一団の農地、トンネル等がある場所は除く
- ② 沢地形や平地が含まれる
- ③ 既存道路から2km以内の場所

46か所を選定

第2次選定

【2次選定項目】

①環境条件

- ・ 希少動植物
- ・ 上越市レッドデータブックの重要な地域
- ・ 民家等からの距離

②地形・道路等条件

- ・ 地形の状況
- ・ 積雪の状況
- ・ 運搬効率

③法的規制等の手続

- ・ 立地回避区域
- ・ 農用地区域
- ・ その他の規制区域

20か所を選定

【公募】

①応募要件

- ・ 上越市内の土地であること
- ・ 概ね5ha以上の面積を確保できる見込みであること

②応募できる方

- ・ 応募地の全部又は一部を所有している方
- ・ 応募地の所在する町内会の長

旧上越市から2件

第3次選定

【3次選定項目】

①環境条件

- ・ 下流域の利水状況
- ・ 生活環境への影響
- ・ 自然環境への影響
- ・ 沿道への影響

②建設条件

- ・ 法規制による指定状況等
- ・ 地形の状況
- ・ 用水・電力の確保
- ・ 土地所有者の状況

③運搬条件

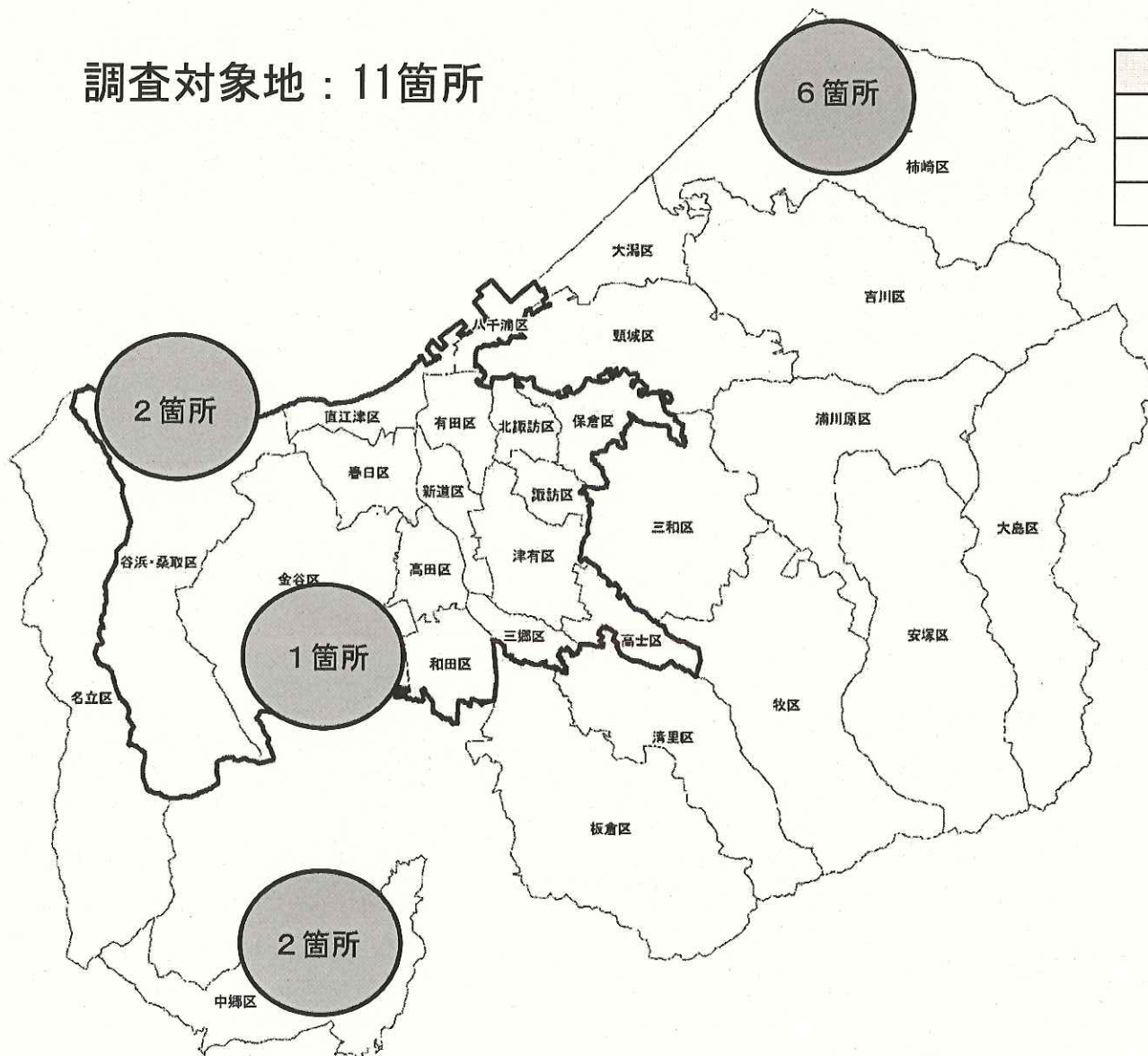
- ・ 運搬効率
- ・ 搬入道路の整備
- ・ 積雪の状況

11か所を選定

3次選定結果

資料3-1

調査対象地：11箇所



自治区名	調査対象地の数
旧上越市	3
柿崎区	6
中郷区	2

※ 合併前の上越市を、「旧上越市」と表記。

< 3次選定項目 >

- ・ 環境条件
 - 下流域の利水状況
 - 生活環境への影響
 - 自然環境への影響
 - 沿道への影響
- ・ 建設条件
 - 法規制による指定状況等
 - 地形の状況
 - 用水・電力の確保
 - 土地所有者の状況
- ・ 運搬条件
 - 運搬効率
 - 搬入道路の整備
 - 積雪の状況

整備候補地選定に向けた今後の予定

候補地検討委員会 第4次選定

【4次選定項目】

1. 現地状況（現地調査）

- ・土地利用の状況
- ・道路の状況
- ・地形・地質の状況
- ・植生の状況
- ・その他

2. 3次選定までの項目の再評価

- ① 環境条件
- ② 建設条件
- ③ 運搬条件

3. 概略設計計画案

4. 概算事業費案

3～5か所を選定

※具体的な候補地の場所は
この段階で公表予定

令和3年2月頃開催予定

最終候補地の選定

- 選定された候補地への地元説明
- エコパークいずもぎきの見学会

県が建設予定地を決定

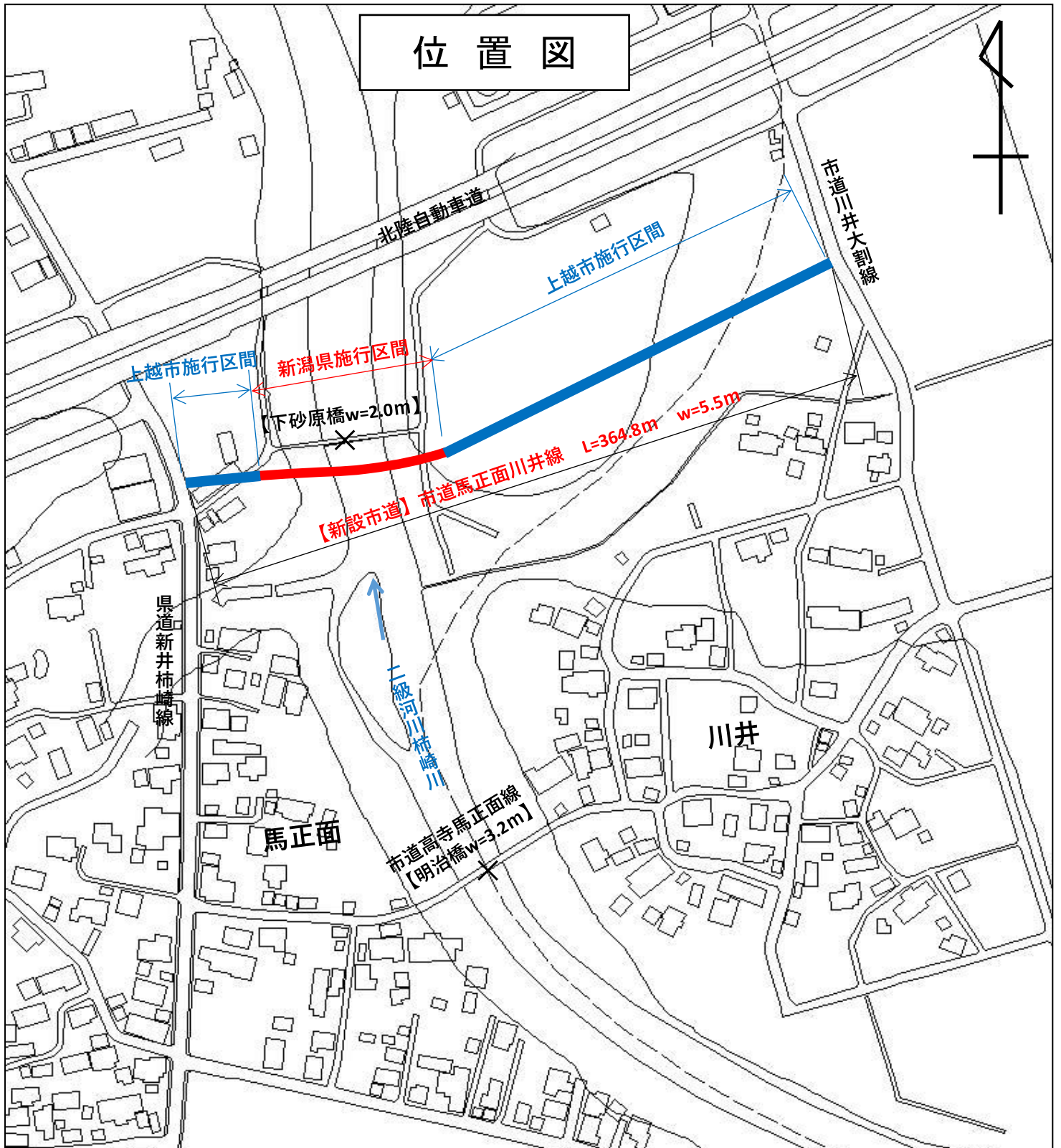
令和3年度以降

柿崎区地域事業の変更について

事業名	事業概要	完了年度
道路整備事業(市道高寺馬正面線、明治橋付近)	幅員が狭く緊急車や除雪車の交通確保の整備・道路側溝の改修・道路舗装新設・老朽橋の架け替え等を計画的に進め、地域の交通の安定を図る。 ・高寺馬正面線	H29 → R9

※裏面あり

位置図



完了年度変更理由

当該路線は、2級河川柿崎川の河川改修に伴い、河川管理者である新潟県が事業主体となり市道橋の架け替えを行う事業のため、新潟県による柿崎川河川改修の計画に基づき事業完了年度を変更するもの。

汚水連携事業完了に伴う 柿崎区初田地区農業集落排水処理施設の廃止について（報告）

1 廃止する理由

柿崎区初田地区における農業集落排水事業について、今年度末をもって汚水連携事業※が完了し、令和 3 年 4 月から公共下水道事業として供用を開始する見込みとなったため。

※ 汚水連携事業の目的

人口減少等に伴う使用料収入の減少に対応するため、柿崎区内における農業集落排水処理施設と公共下水道施設を統合し、汚水処理の効率化を図るとともに、維持管理費を抑制し、下水道事業の経営健全化を図るもの。

2 農業集落排水処理施設の所在地

じょうえつしかきぎきくつのどり
上越市柿崎区角取381 番地 1

3 実施日（変更日）

令和 3 年 4 月 1 日

4 これまでの経過等

平成 27 年度～平成 29 年度

- ・上越市汚水再整備・再構築計画の策定
- ・国県等との協議、詳細検討
- ・下水道全体計画の見直し

平成 30 年度

- ・柿崎区地域協議会等への説明（平成 30 年 4 月 24 日）
- ・下水道事業計画への編入

平成 31 年度（令和元年度）

- ・公共下水道への管渠接続工事等着手

令和 2 年度

- ・公共下水道への管渠接続工事等完了（予定）

5 その他

農業集落排水事業から公共下水道事業へ編入される処理区域における受益者負担金等や接続ますの設置に関する事務手続きについては、従前の方法から変更は生じない。また、編入に伴い、農業集落排水の既使用者の方に、新たな費用負担は生じない。

→ 本件に関連する市条例（3 件）の一部改正案を令和 2 年 12 月市議会定例会に上程予定

頸北斎場における小動物等の火葬に係る使用料の改定について

1 使用料改定の理由

- 動物の火葬に要する維持管理費における利用者負担額の適正化を図る。

2 使用料算定の考え方

- 動物の火葬に要する燃料費を含む維持管理費を基に設定する。
- 公平感に配慮し、重さに応じて4段階(小型、中型、大型、特大)に分ける。

(1) 上越市に住所を有する人の使用料

- 維持管理費相当額の2分の1とする。

(2) 上記(1)以外の使用料

- 維持管理費相当額とする。

3 改定使用料案

(上越市斎場条例別表関係)

改定後				現行			
区分	単位	住民	その他の者	区分	単位	住民	その他の者
火葬炉 小動物等 (頸北斎場に 限る。)	5kg未満 1体につ き	7,500円	15,000円	火葬炉 小動物等 (頸北斎場に 限る。)	1件	4,000円	12,000円
	5~15kg 未満1体 につき	10,000円	20,000円				
	15~30k g未満1 体につ き	12,000円	24,000円				
	30kg以 上1体に つき	15,000円	30,000円				

4 改定予定時期

- 市議会12月定例会に上越市斎場条例の改正案を提案し、議会での議決を前提として、令和3年4月1日以降から改定後の使用料の額を適用する。

地域の交通を考える会 会議記録

日時	令和2年10月28日(水) 18:30~20:00	出席者	武田委員長、岩野委員、貝谷委員、 片桐(宏)委員、小山委員、吉井会長、 吉村委員、事務局 春日主任
場所	市民活動室		
記録者	岩野委員	欠席者	なし
標 題	第1回 地域の交通を考える会		
<p>●委員長選出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員長を武田正教委員に決定する。 <p>●協議内容</p> <p>(1) 委員会の名称について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回に引き続き、委員会の名前を「地域の交通を考える会」とする。 <p>(2) 前期委員の活動状況の確認等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吉井会長から、昨年提出した「柿崎区内における公共交通の在り方に関する意見書」の内容や黒岩線、水野線の今後の状況について説明。 ・乗合タクシーや自家用有償旅客運送(互助・共助)について委員同士で意見交換。 <p>●第2回の開催について</p> <p>日時 12月1日(火) 午後6時30分~ 市民活動室</p> <p>内容 近隣地域の取組状況を確認しながら柿崎区の公共交通について検討する。</p> <p>●その他確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議記録者は五十音順に担当する。 ・担当者は、委員会開催後、1週間以内に事務局へ会議記録を提出する。 			

柿崎空き家活かそうプロジェクト 会議記録

日 時	令和2年10月29日(木) 18:30~19:50	出席者	白井副会長、蓑輪委員長、片桐充委員、 小出委員、中村委員、箕輪委員、薄波 委員、事務局 春日主任
場 所	市民活動室		
記録者	薄波委員	欠席者	なし
標 題	第1回 柿崎空き家活かそうプロジェクト		
<p>●委員長選出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全会一致で委員長を蓑輪和彦委員に決定する。 ・副委員長：薄波清美委員 ※委員長を補佐する目的で副委員長をおくことにする。 <p>●協議内容</p> <p>(1) 委員会の名称について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家を資源として考えられるよう、ポジティブな名前にしたい。 ・柿崎の地域活性化にもつなげたい。 ・空き家の『再生』や『活用』を連想できる名前にしたい。 ・愛着のわく名前にしたい。 <p style="padding-left: 40px;">等の意見を基に『柿崎空き家活かそうプロジェクト』に決定する。</p> <p>(2) 会議録作成について</p> <ol style="list-style-type: none"> ①五十音順で会議録を作成し、事務局春日主任に提出（1週間以内）。 ②次回会議の前に事務局から委員へ会議録（案）を送付→委員個々で加筆修正。 ③会議の始めに、前回議事録の加筆修正を確認してから本題に入る。 <p>(3) 今後行う活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近隣市町村の空き家対策について知る。 ・上越市が行っている空き家対策について知る。 ・柿崎区の空き家の現状把握。 ・空き家の活用について柿崎区の地域住民と懇談の機会を持つ。 <p>●第2回の開催について</p> <p>日時 11月26日(木) 午後6時30分~午後7時30分 市民活動室</p> <p>内容 行政で取り組んでいる『空き家対策』について</p> <p>●その他確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議後の除菌の手順について 			

まちづくりフォーラムの開催の有無について

1. 協議事項

開催の有無

2. 今までの開催状況（参考）

(1) 目的

- ・地域活動支援事業に取り組んだ団体の成果報告を行うとともに、次年度の募集周知を行う。
- ・活気あるまちづくりのために自らができることを考える。

(2) 日時

2月下旬 午後 （2時間～2時間半の開催時間）

(3) 会場

柿崎コミュニティプラザ 4階ホール

(4) 内容

- ・講演
 - ・地域活動支援事業の成果報告及び次年度の募集周知
- ※実行委員会を設置し、検討や準備を行っている。

開催日時	内容
平成 28 年度 (平成 29 年 2 月 26 日)	<ul style="list-style-type: none"> ・講演(J-ホールディングス株式会社社長 伊藤利彦氏) 演題「地域の元気再発見」 ・地域活動支援事業成果報告、次年度募集周知
平成 29 年度 (平成 30 年 2 月 25 日)	<ul style="list-style-type: none"> ・講演(ナマラエンターテイメント代表取締役 江口歩氏) 演題「お笑い柿崎地域活性化論」 ・地域活動支援事業成果報告、次年度募集周知
平成 30 年度	実施なし（地域住民との懇談会を実施） ※懇談会で地域活動支援事業の募集チラシを配布
令和元年度 (令和 2 年 2 月 24 日)	<ul style="list-style-type: none"> ・講演(県立久比岐高等学校校長 早川勝志氏) 演題「新潟県の教育と久比岐高校の未来」 ・地域活動支援事業成果報告、次年度募集周知

3. 課題

(1) 開催する場合

- ・新型コロナウイルス感染症の感染防止対策
- ・会場の選定や時間短縮など開催方法の見直し
- ・必要に応じて、内容・名称等の見直し

(2) 開催しない場合

- ・地域活動支援事業の成果報告や募集周知方法
- ・別の手段で地域と関わる方策